

熊本県立荒尾支援学校進路便り 11月号③ (NO. 31)

# わーく&らいふ

平成30年11月29日 進路指導部 発行

## ■ CONTENTS ■

★シリーズ 職員進路研修 職場ルポPart3 (D班・E班)

### 職員進路研修 職場ルポPart3 ～卒業後の姿・社会のE/サに触れる実践～

本校全職員が卒業生の姿に触れる実践「進路研修」職場ルポのPART3をお届けします。

#### D班の職場ルポ 南関ショッピングセンター ビッグオーク(企業)

ビッグオークは、南関町にあるショッピングモールで食品、菓子、雑貨、衣料などを扱っており、地域の人に親しまれています。就労の類型は一般就労で卒業生が1名働いています。

#### ■卒業生の働く様子

勤務時間は8:30から17:00で余裕を持って8:00に出勤されます。

〈食品部門〉品出し、飲料などお客様の注文をメモし担当に伝える。

〈菓子部門〉パンの発注、PCなどを使って商品のポップづくり。

〈雑貨部門〉品出し、両替、お客様の荷物を駐車場まで運び出す手伝い。

その他にも経理の簡単な手伝いや臨機応変に他の従業員に頼まれた仕事など積極的にサポートし、店長からは「なくてはならない人」と頼りにされていました。



大きな声を出して  
タイムセールで商品を売る姿



実際に作った商品のポップ

#### ■同僚とのコミュニケーション

仕事の楽しみについて質問すると、「休憩時間に職場の人と話すこと」と答えてくれました。休みの日の予定を立て、一緒に遊びに行くこともあるそうです。

#### ■組織の一員として

美化、レクレーション、販促、ホタルの4つの委員会があり、入社から2年間ホタル委員会を勤められました。ホタル委員会は従業員に対し、おもてなし態度や意識向上に向けたスローガンを毎月作成します。積極的にアイデアを出し、選ばれたこともありました。

防災マニュアルを見直し、新たに消火係を任されたそうです。訓練では火災の際、消化器を持って初期消火に走る練習もしました。様々な役割を任されることで組織の一員として意識が高まり、自信を持って仕事に取り組むようになったそうです。

#### ■後輩へのコメント

仕事の楽しみ	職場の人と話すことが楽しい。仕事はやっていくうちに楽しくなってくる。
仕事できついこと	第4日曜日の商品の店頭販売で商品の補充に何往復もすること。
在学中にやっていたよかったこと	生徒会などで人前に立つ経験をしてよかった。
やっておけばよかったこと	最初は緊張したので、コミュニケーションをもっと頑張ればよかった。
これからやりたいこと	家族で旅行に行きたい。レジを覚えてやってみたい。レジはあこがれなので。



★ビッグオークの店長に聞きました。

「学校時代に  
育てておくべき力は 何ですか？」

・大きな声が出せること。  
・社会人になったら、社会人のルールや考え方が必要です。有給休暇の取り方などの「上手なお休みの取り方」なども教えていただければと思います。

## E班の職場ルポ

- ①就労支援センター風工房(玉名市) 就労移行支援・継続B型 他
- ②生活支援センターきらきら(玉名市) 生活介護

### 【たまきな荘就労支援センター風工房】

就労支援センター風工房は、たまきな荘の関連施設で、就労支援を中心とした拠点です。玉名市立八嘉小学校近く、玉名中央学校給食センターの隣に所在しています。

主な作業の一つに「パン工房」があり、事業所内に入ると、パンのおいしそうな香りがあふれていました。



今回の研修では主に就労継続支援(B型)を見学させていただき、ここでは「パン工房」「お菓子工房」「名刺工房」「軽作業」の4つの生産活動を行っていました。どの作業でも必要な事として、計算ができる(計量)、コミュニケーションが必要(お礼が言える)、細かい手作業ができるという力が必要であると伺いました。

利用者さんが作るパンは、施設内の店舗で購入できるほか、玉名地域振興局の1階にある「夢広場」でもお買い求めできます。名刺はオーダーメイドで注文に応じていただけるとのこと。この機会にいかがですか？

なお、今回は見学できませんでしたが、風工房が提供する就労移行支援のサービスは定評があり、玉名に住む本校卒業生が多数、風工房を卒業して就職を実現されています。心強い事業所様のひとつです。



★風工房の管理者に聞きました。

「学校時代に  
育てておくべき力は 何ですか？」

あいさつや返事、ていねいなことばづかいなど、社会人として基礎となる部分を習得しておかれると、その後の就労や自立に向けてスムーズに移行していけると思います。

### 【生活支援センターきらきら】

生活支援センターきらきは、専大玉名高等学校近く鹿児島本線線路沿いに所在しています。放課後等デイサービスや現場実習で多くの児童生徒がお世話になっている事業所です。母体は社会福祉法人「きらきら」で、本校のある有明圏域でも有数の豊富なサービス提供を実施されています。

大きくは児童向けのサービス、大人向けの通所系の事業(生活介護・就労継続支援B)、グループホーム事業、短期入所事業、相談支援事業等があり、重複障がい学級の卒業生の活動の場としてもご尽力いただいています。

今回は、玉名拠点(きらきら)・荒尾拠点(SUN☆フラワー)とある中で、玉名の方へ伺いました。

見学時には本校の卒業生も数名おり、丁度体力維持・健康増進を図る活動として室内で音楽に合わせてリズム運動をしているところでした。力を入れる、抜くなどの自分の体を意識する一環として様々な動きを楽しんで活動していました。



★きらきらの管理者に聞きました。

「学校時代に  
育てておくべき力は 何ですか？」

- ・自分の意思や、気持ちを伝える練習。
- ・イライラ時のクールダウンのやりかた。

<編集後記>

- ◆進路研修に参加することで社会に出てから必要なスキルや、在学中に獲得しておくべきスキルや課題について知ることができました。職員一同、研修で学んだことを今後の教育活動に活かしていきます。

(D班担当 深浦)

- ◆研修後、職員から必要な力を現在受けもっている児童生徒やそれぞれの学部、グループで身につけられるよう、今後学習内容を改善していきたい。という話がありました。将来、どのような夢があるのか、保護者の方と話をしっかりして、子ども達の未来のために今つけなければならぬ力をつけられるような指導・支援を今後していきたいと感じました。(E班担当 風間)

